学校番号	3001

令和２年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版　新　高校の数学Ⅰ　（数研出版）						
副教材等	教科書学習ノート　数学Ⅰ　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・毎回「目標」を提示し、一斉学習→個別学習→教えあい（グループ学習）を行います。また、先に問題を提示して、グループ学習を行うこともあります。
・授業は配布するプリントで行い、授業ごとに提出してもらいます。板書をするだけでなく、先生の言ったことを理解出来るように努めましょう。
・問題集は定期考査ごとに提出してもらいます。日頃から学習を行い、定着に努めましょう。

２　学習の到達目標

数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基礎的な知識や技能を習得する。
また、事象を数学的に考察する能力を培い、数学の良さを認識するとともに、それらを活用する態度を身に付けることを目標とする。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析の考え方に関心を持つとともに、数学の良さを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析における数学的な見方や考え方を身に付けている。	数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
評価方法	プリント 確認テスト 観察等	プリント 確認テスト 定期テスト 観察等	プリント 確認テスト 定期テスト 観察等	プリント 確認テスト 定期テスト 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	数と式	整式の加法・減法		○	○	○	a:具体的な事象の考察に式の展開や因数分解などを活用しようとしている。また、数量の関係を不等式で表すことの良さを捉え、それらを具体的な事象の考察に活用しようとしている。 b:１つの文字に着目したり、１つの文字に置き換えたりするなどして色々な式の見方をすることができる。また、不等式の性質を等式の性質と対比して捉えることができる。 c:式を用いて事象を適切に表現し、見通しをもって式を扱うことができる。不等式の性質を基にして一次不等式を解くことが出来る。 d:乗法公式や因数分解の公式の意味を理解している。一次不等式とその解の意味を理解し、解を求めるための基礎的な知識を身に付けている。	プリント 確認テスト 定期テスト 観察等
		乗法公式			○			プリント 確認テスト 定期テスト 観察等
		因数分解	○		○			プリント 確認テスト 定期テスト 観察等
		実数				○		プリント 確認テスト 定期テスト 観察等
		一次方程式			○	○		プリント 確認テスト 定期テスト 観察等
2学期		一次不等式	○	○	○	○		プリント 確認テスト 定期テスト 観察等
	二次関数	二次関数とグラフ		○			a:二次関数とその値やグラフについて関心を持ち、それらを二次関数の考察に活用しようとしている。また、二次関数のグラフと x 軸の位置関係を基に、二次方程式や二次不等式の解について考察しようとしている。 b:二次関数の値の変化の様子について、グラフを用いて考察することができ、x 軸との位置関係を二次方程式、二次	プリント 確認テスト 定期テスト 観察等
		二次関数の最大値・最小値	○	○	○	○		プリント 確認テスト 定期テスト 観察等
		二次関数の利用		○				プリント 確認テスト 定期テスト 観察等

3学期		二次方程式		○	○	○	不等式の解に対応させて考察することができる。 c:二次関数のグラフを用いて、二次関数の最大値・最小値や二次方程式、二次不等式の解を求めることが出来る。 d:二次関数の最大値・最小値とその求め方、二次関数のグラフと二次方程式、二次不等式との関係を理解している。	プリント 確認テスト 定期テスト 観察等
		二次不等式	○	○	○			プリント 確認テスト 定期テスト 観察等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:数学的な見方や考え方
　　c:数学的な技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。